

E031 三島溶岩流の露頭・五竜の滝(静岡県GEO
DATA(25)特集：地学散歩(104))

メタデータ	言語: ja 出版者: 静岡県地学会 公開日: 2023-01-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 増島, 淳 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00029284

E031 三島溶岩流の露頭・五竜の滝



カシミール3D地図

約 10,000 年前に富士火山から噴出し、南東方向に流下した溶岩流は、愛鷹山と箱根山が接する谷底を、両火山の山裾を埋め立てながら流れた。現在の三島市域まで地表に露出しているため、「三島溶岩流」と呼ばれている。

溶岩流の進行を妨げた山裾部には、ローム層が厚く堆積していたが、河川に浸食され、現在は堰き止められていた硬い溶岩流の断面が露出している。溶岩流上を流れる黄瀬川や大場川などは、この部分で「滝」となっている。

長泉町の「鮎壺の滝」や、三島市の「鮎止めの滝」などもこれにあたる。

裾野市の「五竜の滝」も成因は同じである。名前は 5 筋の滝が懸かることに由来する。西側の 3 筋は黄瀬川に、東側の 2 筋は深良用水分流の大柄沢川に懸かる。滝壺近くの公園から観察できるのは黄瀬川に懸かる 3 筋だけで、公園内の吊り橋を渡ると残りの 2 筋も観察できる。幅 100 m、高さ 12 m の露頭に何層もの溶岩が重なり、その隙間からは湧水が認められる。公園には、駐車場やトイレも完備されている。(増島 淳)